



ながさき  
山の時間

山×ブルーベリー

# のんびり山



**長崎**と佐賀の県境にまたがる多良岳。その麓に位置する小長井町の「のんびり山」には約千二百坪の畑が広がっている。植えられているのは、五百本ものブルーベリー。夏の間、観光農園としてオープンし、ブルーベリー摘みが楽しめるほか、併設されたカフェでゆっくりとした時間を過ごすこともできる。

オーナーは森山誠さん・夏美さんご夫妻。東京で出会った二人は東日本大震災をきっかけに、誠さんのふるさとである長崎へ移住。飲食店で働いていた誠さんは次第に生産者への憧れが募り、いつかは農業の道へ進みたいと思うようになったという。

ブルーベリー農園との出会いは五年前。知人から、高齢のため引き継いでくれる人を探している方がいると聞き、

訪ねたところ、ブルーベリーの美味しさや環境に一目惚れ。農園を守ることを即決した。それからというもの、夫婦は周辺の耕作放棄地にも手を入れ、レモンやミカン、シヨウガなどを栽培することで土地をよみがえらせてきた。

のんびり山では、自然環境を守りたい、素材をまるごと味わってほしいという思いから、農薬や化学肥料は使用していない。誠さんは「作物を研究することでそのような栽培は可能でし、何より作物への理解を深めていくことが面白いです」と話す。二人は農業が楽しくてたまらない様子だ。「大げさではなく、畑までの道のりがきれいだから、農園に広がる景色を見ているだけで幸せというか、もう最高です」と誠さんが笑えば、「私は今、目覚まし時計のない生活をしています。時間に縛られずに、自然の中で暮らすことがこんなにも素晴らしいものだとは思いませんでした。また、遊びに来てくださるお客様が年々増えていくのも大きな喜びです」



農業が好きでたまらない。  
そんな二人が育てる  
幸せのブルーベリー



のんびり山までは、細い山道をゆく。  
この看板が目印!



カフェではブルーベリーを使った  
ドリンクやデザートも楽しめる。



フードロスゼロを目指し、  
傷ついた作物はジャムなどの加工品に。  
こちらはネットでも購入可能。

と夏美さんもっこり。  
のんびり山では十種類のブルーベリーが食べ放題。実際に食べ比べてみると、甘いもの、甘酸っぱいもの、とそれぞれに味わいが異なり、発見がある。ブルーベリーの摘み取りは夏限定だが、秋にはレモンやシヨウガが収穫され、ネットで購入できる。今後の目標について「冬でも楽しめるように、ミカンの収穫体験もできるよう準備を進めています」と話す二人。仲良し夫婦の夢は広がってゆく。